

ロマンあふれる柘植の歴史

第2回文化講演会のご案内

柘植地域まちづくり協議会教育文化部会

11月の第1回にひきつづき、柘植の歴史と文化について、この分野に造詣の深い小林区の田中重之さんにご講演頂きます。

柘植は古代から奈良、京都と伊勢、東国を結ぶ交通の要衝で歴史の宝庫です。第1回では、古代を中心に、「づげ」の名前の由来、都美恵神社の歴史、壬申の乱など興味あるお話しいただきました。今回は、平安時代以降の柘植の歴史のなかで、この東西交通の要衝に由来する大きな歴史的出来事を取り上げ、詳しくお話しいただきます。

1. 日時 令和2年2月15日(土) 13:30~15:00

(13:00より受付)

場所 柘植地区市民センター

2. 講師 田中重之さん

田中先生はご存じのとおり高校で教鞭をとられたあと、柘植の歴史文化を深く研究され、最近では「郷土の歴史・民俗かるた」を編纂されるなど、広くご活躍されております。

3. テーマ 「柘植の歴史と文化(第2回)」

今回は次の3つ歴史についてお話し頂きます。

(1) 齋王群行・・・ 齋王(天皇に代わって天照大神に仕える未婚女性皇族)

を中心とする都から伊勢神宮までの300名ほどの5泊6日の群行。

柘植は794年から92年間、群行の宿泊地であった。

(2) 徳川家康の伊賀越え・・・ 本能寺の変の直後、堺にいた家康は、逃避行

の途中、徳永寺で休息、柘植衆の案内で柘植から加太を経て、居城の岡崎まで脱出した。

(3) 柘植駅の開業・・・ 1890年2月19日三重県最初の駅として開業。

今月19日が開業130周年記念日にあたる。